

シルバー な が の

第 56 号
2026.9月発行
SILVER
NAGANO

公益社団法人

長野県シルバー人材センター連合会

〒380-0841 長野市大門町51番地1

TEL 026-237-4680 FAX 026-237-5665



旧三笠ホテル

重要文化財・旧三笠ホテル

旧三笠ホテルは、軽井沢町にある歴史的建造物で、日本の近代リゾート文化を今に伝える貴重な存在です。1906年（明治39年）に実業家・山本直良によって建設され、当時は「西洋館のホテル」として国内外の多くの政財界人や文化人、外国人避暑客を迎え入れました。その優雅な佇まいから「軽井沢の鹿鳴館」とも称され、日本を代表するクラシックホテルの一つとして知られています。

建物は木造2階建てで、西洋建築を基調としながらも、日本の大工による精巧な木工技術が随所に生かされています。ベランダや窓枠、格子細工などには繊細な装飾が施され、明治時代の建築美を間近に感じられることができます。また館内には当時の客室や食堂、応接室などが保存・公開されており、往時の華やかなホテルライフをしのぶことができます。

1980年には国の重要文化財に指定され、その歴史的・文化的価値が高く評価されています。現在は保存修理を経て一般公開され、多くの観光客が訪れる人気スポットとなっています。四季折々の自然に囲まれた静かな空間の旧三笠ホテルは、美しい景観と歴史が調和した魅力あふれる場所です。

明治時代の避暑地文化や建築技術に触れながら、軽井沢の歩みを学ぶことができる貴重な文化遺産として、一度は足を運びたい特別な場所です。ぜひお越しください。

写真提供 軽井沢町教育委員会 生涯学習課
問合せ 0267・45・8695

令和8年度 定時総会開催

令和7年度事業報告及び収支決算が承認されました

6月11日（木）、長野市のホテルメトロポリタン長野において、令和8年度定時総会が開催されました。

冒頭、小林会長は、あいさつの中で、少子高齢化、長期の人口減少過程にある中、社会経済の活力を維持していく上では、高齢者のより一層の活躍が期待されている。

こうした中、シルバー人材センターは、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献するとともに、自らの生きがい、健康増進、仲間づくりなど高齢期の豊かな生活を実現する場所として重要な役割を果たしており、シルバー人材センターに向けられる期待は、一層大きなものとなっている。

こうした期待に応え、活力のある活動をしていくためには、会員の拡大が最大の課題である。連合会全体として、一日も早くプラスへと反転できるよう、そして、会員の増加と同調した仕事の増加、そのことによる更なる会員増、仕事増といった好循環に繋がるよう、会員拡大に



▲ 小林会長挨拶

向け、知恵を出し工夫をこらした取り組みを進めてまいりたい。

また、会員の高齢化への対応も重要な課題である。会員の平均年齢が75歳を超え、上昇が続いている中、無理なく働いていただける就業先の開拓や独自事業の開発、また、ボランティアやサークル活動など居場所としての機能強化、さらには健康の維持増進への支援といった分野にも、積極的に取り組んでまいりたいと話されました。



▲ 労働局大木部長挨拶

会長あいさつの後、長野労働局大木隆久職業安定部長、長野県産業労働部長代理の木下育夫産業労働部次長からご祝辞をいただき、ご来賓としてご出席いただいた長野公共職業安定所長赤羽章様をご紹介しました。



▲ 長野県木下次長挨拶

続いて、議長には、（公社）木曾シルバー人材センターの下田理事長が選出され、まず令和7年度事業報告及び収支決算について、続いて、令和8年度事業計画・収支予算が報告され、また、辞任に伴う新役員の選任について熱心に審議をいただき、全会一致で承認されました。



▲ 下田議長

席上、長年にわたりセンター理事長及び事務局長としてご尽力いただいた各氏に対して連合会表彰が行われ、小林会長から表彰状と記念品が授与されました。



▲ 受賞者の皆さん

連合会表彰受賞者

■ センター理事長表彰

● 宮坂 壽一氏（茅野広域SC前理事長）

● 伊藤 次雄氏（伊那広域SC前理事長）

■ センター事務局長表彰

● 新海 修一氏（佐久SC前事務局長）

● 北沢 一人氏

（北アルプス広域SC前事務局長）

● 久保田 文智氏（阿南広域SC前事務局長）

長年に渡りありがとうございました。

令和8年度 事業計画の主なもの

① 公益法人運営事業

シルバー連合は、公益社団法人として、その運営に当たっては公益的な活動はもちろんのこと、法人のガバナンス、コンプライアンス体制、情報公開と情報管理体制の整備・充実など、公益性が認定された法人に相応しい法人運営が求められている。このため、組織運営や会計を始めとする事務処理など、あらゆる面において適切で円滑な運営が推進されるよう、センターの事務・事業をサポートしていく。

② 安全・適正就業推進事業

○ 安全就業

「安全・安心なシルバー事業」を展開することは、シルバー事業遂行の基幹であり、重篤事故・賠償事故を始め、あらゆる

る事故の撲滅を目指し、「事故ゼロで地域から信頼されるシルバー」に向け、会員の安全意識の向上、事故防止策の徹底など組織を挙げて安全対策を一層推進する。

○適正就業

公益法人として法令遵守の立場から、センター会員の働き方に係る重要な指針である「適正就業ガイドライン」に沿った業務運営により就業の適正化を推進する。

③普及啓発事業

シルバー事業のイメージアップを図り、県民や企業への理解と認識を高め、多様な会員の確保や新たな就業先の拡大につながるよう、様々な機会・媒体を通じた効果的な普及啓発活動を推進する。

④就業開拓等事業

多様化する会員の就業ニーズや地域ニーズに対応するため、新たな就業機会・就業分野の開拓・確保をセンターと連携して実効ある取り組みを推進する。

⑤交流研修事業

センター役職員の資質の向上と相互の情報共有を図り、シルバー事業の活性化及び適正な運営を確保するため、役職及び担当分野に応じた各種研修会等を開催するとともに、全国シルバー人材センター事業協会等が実施する研修会等に参加する。

⑥シルバー派遣事業

高齢者の多様な就業ニーズに対応した

就業機会の確保と受託事業の適正な就業を確保するため、各実施事業所との緊密な連携のもと、シルバー派遣事業の円滑な推進を図る。

⑦高齢者活躍人材確保育成事業

各センターと連携して、人手不足分野や現役世代を支える分野で活躍する高齢者就業を推進するため、広報活動のほか、

公益社団法人 長野県シルバー人材センター連合会役員名簿

(任期 令和9年の定時総会終結の時まで)

令和8年6月11日現在

【理 事】

役職名	氏名	所属団体	職名	備考
会 長	小林 隆之	(公社)長野シルバー人材センター	理 事 長	北 信
副 会 長	青木 敏和	(公社)松本地域シルバー人材センター	理 事 長	中 信
常務理事	宮下 善人	(公社)長野県シルバー人材センター連合会	事務局長	特別会員
理 事	森 義一郎	(公社)更埴地域シルバー人材センター	理 事 長	東 信
理 事	土屋 俊重	(公社)佐久シルバー人材センター	理 事 長	東 信
理 事	濱 謙二	(公社)岡谷下諏訪広域シルバー人材センター	理 事 長	南 信
理 事	林 憲明	(公社)駒ヶ根伊南シルバー人材センター	理 事 長	南 信
理 事	有賀 奨	(公社)北アルプス広域シルバー人材センター	理 事 長	中 信
理 事	根津 俊男	(公社)須高広域シルバー人材センター	理 事 長	北 信
理 事	小山 靖	(公財)長野県長寿社会開発センター	常務理事	認定法第5条第15号に定める理事

【監 事】

役職名	氏名	所属団体	職名	備考
監 事	有賀 朝一	(公社)安曇野シルバー人材センター	理 事 長	中 信
監 事	金子 孝	関東信越税理士会長野支部	税 理 士	認定法第5条第16号に定める監事

※認定法:公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律

新役員紹介

技能講習、就業体験を実施し、新規会員・発注企業の拡大に取り組む。

総会において連合会の役員の辞任に伴い、新たに3名の役員が選任されました。

センター新任理事長・事務局長

新任理事長

5氏

- ・杉野 高德氏 (塩尻地域)
- ・濱 謙二氏 (岡谷下諏訪広域)
- ・牛山 重幸氏 (茅野広域)
- ・土屋 俊重氏 (佐久)
- ・向山 輝予史氏 (伊那広域)

新任事務局長

3氏

- ・橋本 達也氏 (佐久)
- ・降旗 孝浩氏 (北アルプス広域)
- ・高田 良明氏 (阿南広域)



▲センター新任理事長の皆さん

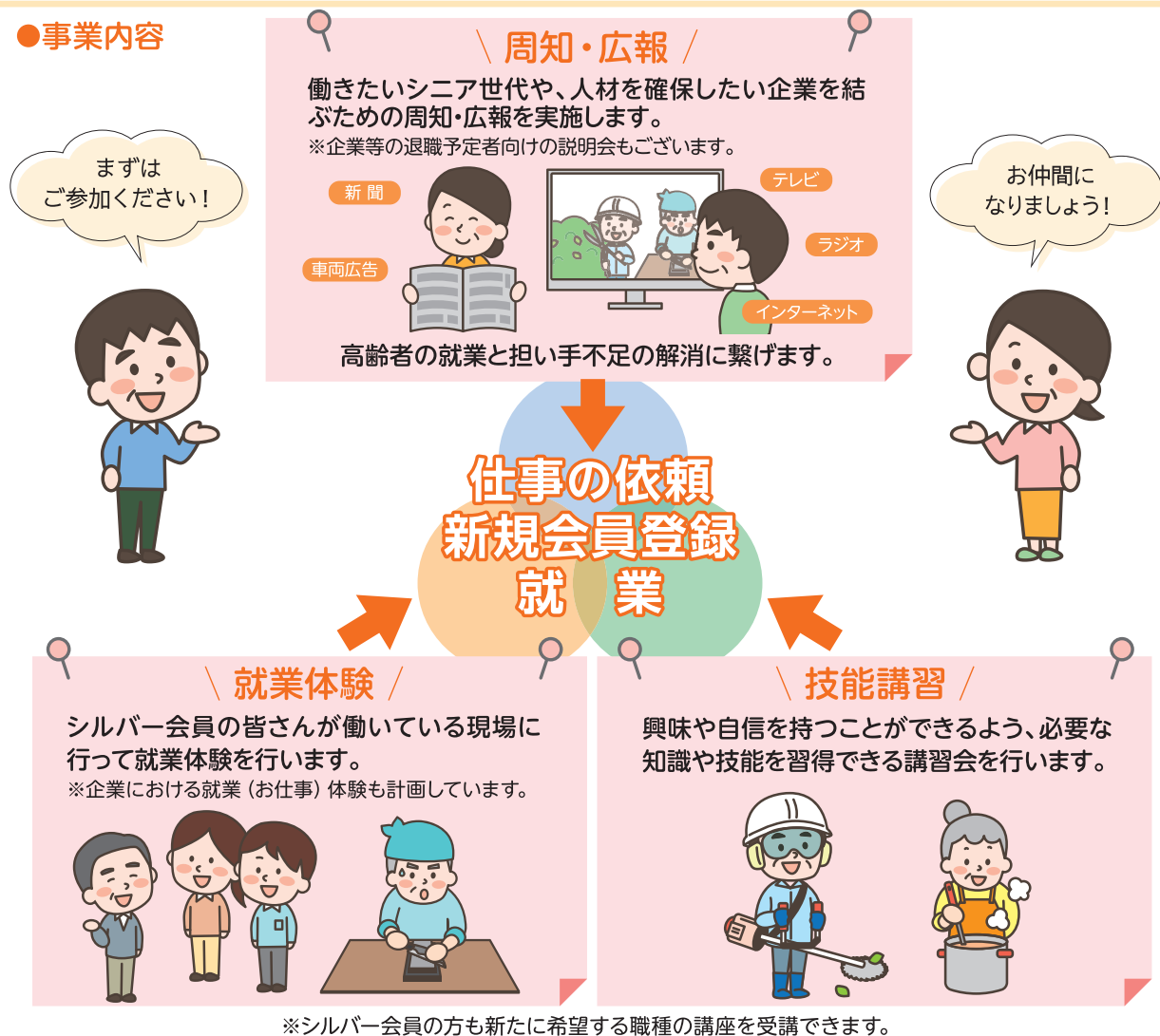


▲新役員の皆さん

高齢者活躍人材確保育成事業のご案内

- 事業目的 地域における人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を推進するため、広報活動、就業体験、技能講習などを通して、高齢者、企業様双方のシルバー人材センターに対する理解を深めていただくことを目的としています。

●事業内容



令和8年度 高齢者活躍人材確保育成事業 講座開催予定一覧

中 信	開催地	説明会・就業体験・技能講習 名 称	開 催 月	日 数	受 講 申 込 先 シルバー人材センター
	技 能 講 習				
	松本市	スマートフォン活用術講習	12月	1	松本地域
	安曇野市	スマートフォン活用術講習	10月	1	安曇野
	就 業 体 験				
	塩尻地域	シルバー職場見学・就業体験会	4～12月	10	塩尻地域
	木曽町	庭木剪定体験	7月	1	木曽
	説 明 会				
	大町市	企業説明会	11月	1	北アルプス広域

諏 訪	開催地	説明会・就業体験・技能講習 名 称	開 催 月	日 数	受 講 申 込 先 シルバー人材センター
	技 能 講 習				
	下諏訪町	刈払機講習	6月	1	岡谷下諏訪広域
	茅野市	刈払機講習	5月	1	茅野広域
	諏訪市	刈払機講習	5月	1	諏訪
	茅野市	庭木剪定講習	6月	3	茅野広域
	就 業 体 験				
	茅野市	刃物研ぎ体験	11月	1	茅野広域

南 信	開催地	説明会・就業体験・技能講習 名 称	開 催 月	日 数	受 講 申 込 先 シルバー人材センター
	説 明 会				
	飯田市	シニア世代のマナー講座	8月	1	飯田広域
	伊那市	シニア世代のライフプラン講座	11月	1	伊那広域
	駒ヶ根市	シニア世代のライフプラン講座	11月	1	駒ヶ根伊南

北 信	開催地	説明会・就業体験・技能講習 名 称	開 催 月	日 数	受 講 申 込 先 シルバー人材センター
	技 能 講 習				
	須坂市	初級植木剪定講習	10月	3	須高広域
	説 明 会				
	長野市	シニア世代のライフデザイン講座	10月	1	長野
北 信	須坂市	シニア世代のライフプラン講座	11月	1	須高広域

東 信	開催地	説明会・就業体験・技能講習 名 称	開 催 月	日 数	受 講 申 込 先 シルバー人材センター
	技 能 講 習				
	千曲市	いきいき生活力アップ講習①料理	8～9月	2	更埴地域
	千曲市	いきいき生活力アップ講習②掃除	10月	2	更埴地域
	上田市	日常生活支援講習	6月	3	上田地域
	上田市	庭木・庭園管理講習	9月	4	上田地域
	佐久市	刃物研ぎ講習	10月	1	佐久
	小諸市	庭木剪定講習	6月	3	小諸北佐久

- 参加対象者** 60歳以上、長野県在住でシルバー人材センターに興味をお持ちの方
- 参 加 費** 無料（会場までの交通費、昼食代等は自己負担）
- 申込み方法** 受講申込先のセンター、または連合会ホームページにて申込書入手いただき、必要事項をご記入の上、申込先窓口へご提出ください。

公益社団法人 茅野広域シルバー 人材センター

〒391-0002

茅野市塚原二丁目5番45号

TEL 0266-73-0224

FAX 0266-73-0227

E-mail:chino-k@sjc.ne.jp

- ・理事長 牛山 重幸
- ・副理事長 森山 好一
- ・専務理事・事務局長 國枝 俊二
- ・構成市町村 茅野市・富士見町・原村
- ・会員数 543人(令和8年3月末)
- ・契約金額 292,938千円(令和7年度実績)

シルバーだより



CHINO



富士見町から見た富士山

地域の概要

茅野広域シルバー人材センターは、茅野市・富士見町・原村にお住まいのみならず、さまざまな市町村・企業等を対象としてサービスを提供しています。

長野県のほぼ中央に位置し、諏訪湖の東、八ヶ岳西麓の裾に広がる緑豊かな地域です。山梨県に接している富士見町からは「富士山」がよく見えます。

また、年間を通じて多くの観光客が訪れる、蓼科高原や富士見高原・八ヶ岳中央高原・白樺湖・車山など有数の観光地が点在し、リゾート開発された別荘地には、

センターの取り組み

ゴルフ場が隣接し、多くのゴルフ愛好家にご利用いただいています。

当センターの会員数は、企業等の定年延長や再雇用制度の導入を要因のひとつとして、コロナ禍以降においても年々減少傾向にあります。毎月の入会説明会の開催やハローワークと連携した、会員確保に取り組んでいます。令和7年度からは、「ポイント制度」を導入し、会員の紹介により入会された場合は、紹介した会員へ、高いポイントを付与しています。8年度からは、女性会員の拡大を視野に入れ「女性部会（仮称）」の設置に向け



令和8年度定時総会



独自事業班作成した「かど松」を茅野市へ贈呈

地域の紹介



草刈り講習会



庭木剪定講習会

て先進センターの取り組み状況を参考に実施する計画です。また、近年問題とされている「ハラスメント対策」を含め、会員の資質向上を目的に講習会等を計画しています。

今後も、現取り組みを継続し、地域の

みなさまに選ばれ・喜んでもらえるセンターを目指し、会員のみなさんが楽しんで仕事ができる環境の整備を進め、「魅力あるセンター」づくりを進めてまいります。

公益社団法人
中野広域シルバー
人材センター



地獄谷野猿公苑

〒389-2192
中野市大字豊津2508番地 中野市豊田庁舎内
TEL 0269-38-0323
FAX 0269-38-0324
E-mail: nakanokoiki@sjc.ne.jp

- ・理事長 高木 武彦
- ・副理事長 上田 實
- ・専務理事・事務局長 太田 敦
- ・法人設立 平成3年4月1日
- ・構成市町村 中野市・山ノ内町
- ・会員数 744人(令和8年3月末)
- ・契約金額 390,960千円(令和7年度実績)

シルバーだより



地域の概要

中野広域シルバー人材センターは、長野県の北部に位置し、中野市、山ノ内町で構成しております。

中野市の産業は農業が盛んで、リンゴやブドウの栽培では全国でも有数の品質と生産量を誇っています。早くからエノキダケの栽培に取り組み、キノコや果樹、花きの施設栽培の先進地としても知られています。

近年は、ブドウのシャインマスカットの栽培も盛んで、中野市のふるさと寄附金の返礼品としても人気があります。山ノ内町は近年、外国人の観光客が多く訪れ、志賀高原等でのスキー、スノーボード等のウインタースポーツ、地獄谷野猿公苑のスノーモンキーを観に来る

方々で賑わいをみせています。この、地獄谷野猿公苑入口の駐車場でも会員が活躍しています。

センター概要

当センターは、昨年、設立35周年を迎え、記念事業として「お笑いタレントの山田邦子さん」をお迎えして講演をいただき、会員のみなさん多くの方に聴講いただきました。

社会構造が変化する中、会員数の減少が続いており、草刈り、剪定業務に従事する会員も高齢化・後継者不足となり、受注があっても全てに対応できない非常に厳しい状況にもなっていますので、役員・会員一丸となり、新入会員の確保に努めています。会員を増やすために、ローカル紙への

広告、スーパー店頭でのチラシの配布、毎年11月の中野えびす講に併せての「シルバーまつり」を実施するなど広報活動にも力を入れ、多くの方にシルバー人材センターを知っていただくように努めています。

地域社会への貢献

地域社会貢献につきましては、公共施設などの草刈り・草取り等の地区奉仕活動として、全会員の50%弱の参加により

実施しています。さらに、互助会活動では、会員作品展、マレットゴルフ大会、親睦会を実施し、また、6つの同好会が精力的に活動しており、昨年は親睦旅行を実施し、会員の親睦に努めています。

今後も就労を通じ、生きがいの充実、地域社会への貢献、仲間づくり、フレイル予防等の健康維持・増進のため、また、地域の皆様に親しまれるシルバー人材センターを目指し、役員・会員一同元気に活動して参ります。



シルバーまつり



スーパー店頭 普及啓発活動

地域・活動の紹介



互助会 マレットゴルフ大会



地区奉仕活動



互助会 全体交流会

安全・適正就業対策の徹底

令和8年度からの全国統一スローガン

「声掛けは仲間を守る
いのち綱」

安全就業の推進は、会員拡大とともにシルバー事業における2本柱と位置付けられ、シルバー事業を遂行する上で極めて重要であり、積極的な安全対策の取り組みを行ってきております。

令和7年度の事故件数は、217件（令和6年度252件）と前年度対比35件減少いたしました。

センターでは常日頃から「安全はすべてに優先する」をスローガンに、全ての会員が事故を起こさないために、全会員を対象とした安全適正就業促進大会や地域班及び職群班を対象とした安全講習会を開催しています。さらに安全・適正就業委員会等で論議し自ら規則を作り、事故撲滅に向けて対策を講じてきました。

令和7年度、事故件数は前年度に比べ減少しましたが、過去4年間発生していなかった重篤事故（死亡又は6か月以上の入院）が2件発生しました。

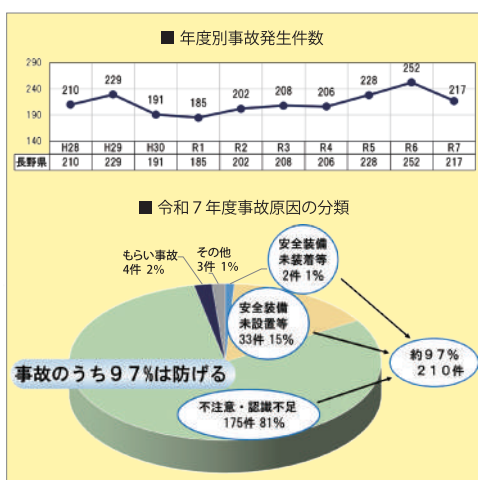
全体の事故原因を分析してみると、不注意・確認不足、また、安全装備の未設置・未装着などの不安全な行動（ヒューマンエラー）が9割を超えている状況が続いています。

事故を起こしてしまうと、業務に対する信用を失うばかりか、地域からの信頼を無くしていつてしまします。

信頼を失うことは容易ですが、新たな

信頼関係を築き上げるには、更に大きな積み重ねが必要になっていきます。

「慣れ」、「油断」、「過信」は禁物です。「事故ゼロで地域から信頼されるシルバー人材センター」実現に向け、引き続き取り組んで参りましょう。



安全就業研修会を 開催しました

各センターの安全推進員、安全委員等を対象に、県内5ブロックごとの研修会を5月下旬から6月に掛けて開催しました。今回は連合会の内田安全・適正就業パトロール指導員を講師に実際に発生した事故事例を元にした危険予知訓練（KYトレーニング）などを行いました。

安全・適正就業 パトロールを実施しました

安全就業強化月間に合わせて7月上旬



バリカン式トリマーで
石飛抑制



軽ダンプの窓養生

から8月下旬にかけて、連合会安全・適正就業対策推進委員会の委員が県内21センターの協力のもと、各センターの安全（推進）委員さんなどとともに植木剪定若しくは機械除草の現場パトロールを行いました。

この時期の暑さは年々増してきているように感じますが、暑い中でも安全装備をきちんと装着して作業を行っている様子や、事故防止に向けて休憩をこまめにとるなどの対策をきちんと講じられていることが確認できました。今後とも健康に十分注意して、安全就業の一層の徹底をお願いします。



庭木剪定作業

編集後記

近年、夏の猛暑や大雨のリスクを考慮し、伝統的な夏祭りや花火大会をあえて秋に延期・開催する地域が全国的に増えているそうです。私たちシルバーの就業現場にとっても、もはや「夏をどう乗り切るか」は死活問題となってきました。会員の皆様におかれましては、例年になく過酷な暑さの中、徹底した暑さ対策を取りながら日々の業務に励んでいただき、心より感謝申し上げます。

ようやく過ごしやすいく秋の風が吹き始めましたが、これから秋の草刈りシーズンを迎えるにあたり、今一度念頭に置いていただきたいのが「安全就業」です。特に草刈り現場における「飛び石事故」は、第三者を巻き込む重大なトラブルに繋がりがかねません。社会が秋の行楽やイベントで活気づく今だからこそ、作業前の現場確認と周囲への防護措置を改めて徹底しましょう。

地域の環境を美しく整え、誰かの役に立つことは、私たちの大きな「生きがい」です。事故なく怪我なく、この実りの秋を笑顔で健やかに駆け抜けていきましょう。